

# 班通信

No. 10



ワレモコウとアキアカネ

令和5年11月9日

さいたま市  
岩槻班退職校長会  
事務局：090-5826-3329 (岡野)

## 「実物に勝るものなし!」「また行ってみたい!」 つくば市方面への日帰り研修旅行を実施

10月20日爽やかな秋晴れに恵まれ、参加者17名で3か所の研究施設を見学してきました。

### ○JAXA 筑波宇宙センター

写真で見慣れた人工衛星やロケットも、実物大模型で初めてその大きさや質感に気づき、迫力に圧倒されました。一連の展示物で日本の宇宙科学の歴史が理解できました。

### ○国立科学博物館つくば実験植物園

この春開花が話題になったショクダイオオコンニャクに日本で初の大きな果実がついていました。人の背丈以上の大きさや鮮やかな赤い実にびっくりです。次はいつ見られるか分からないということでもラッキーでした。

### ○国土地理院「地図と測量の科学館」

貸し切り状態でゆったり見学、床に描かれた1/10万の日本地図を立体眼鏡で見ると、日本アルプスや海溝、断層帯などが浮かび出て、その高さや深さを実感できました。また伊能忠敬の業績紹介や資料の展示もありました。

研修会の詳細は『会報No.26』に掲載予定ですが、豊富な展示に今回を契機に再度じっくり見学したいと思いました。



ハヤブサ2



昼食



ショクダイオオコンニャク



映像で地図の学習

## 岩槻班恐るべし! またまた 快挙です

### ○ 県退職校長会囲碁大会 (完全制覇)

- ・Aクラス 優勝 新井正彦会員
- ・Bクラス 優勝 中山時次会員
- ・Cクラス 優勝 井上修一会員

### ○ 県退職校長会ゴルフ大会 優勝 川村潔会員

## 岩槻班退職校長会今後の予定

- 12/3 年末懇親会
- 12/3・10 企画研修会「辰の木目込み人形を作ろう」
- 会報No.26原稿募集 (1月締め切り予定)

\*今後の通知等をおご覧いただき、是非ご参加ください。

## 寄稿

### 岩槻児童センター館長 小久保雅基 様 児童センターの夏休み

今年3月に新里会長とのひよんなご縁から退職校長会の方々との連携事業が始まり、児童センターの夏に「楽しく、ためになる!そして驚きとチャレンジ」がやってきました。

7/1~9/10は、大河内先生の長年のコレクションから「夏 躍動する昆虫たち」と題し26点の昆虫写真を展示させていただきました。多くの親子が目を輝かせて長時間見ていたのが印象的でした。また、8/22には「**空気**のふしぎ」実験ショーを行い、25人が参加し、見えない空気のかに感嘆していました。

続く8/23には井上先生による「四海波花かご」の竹細工に4人の小学生がチャレンジ。素敵な作品に「お菓子を入れたら美味しそう」と言っていました。おかげ様で大成功の夏になりました。今後子ども達の興味関心と笑顔が広がる活動をご一緒にできたらと思っています。よろしくお願いたします。



実験ショー「空気ふしぎ」



竹細工「花かごづくり」

小久保館長の寄稿にある3事業のほか、林会員が自宅で飼育するジャコウアゲハの幼虫・蛹を事務室前に展示しました。やがて羽化して放蝶した時は「本物の魅力」を十分発揮し、参加者に感動を味わってもらいました。今後も多様な連携事業を工夫していきます。

### \*\*\*\*\* 冬休みも連携事業を実施します

12/24 「びっくり!きれい!昆虫の世界」(担当:大河内)

12/25 「よく飛ぶ竹トンボを作ろう」(担当:井上)

12/27 「上手になる書初め教室」(担当:岡野)

1/6 実験ショー「おもしろ静電気」(担当:大河内)

会員の皆様にも是非おいでいただき、見学はもちろんのこと、できれば場面に応じてお手伝いや参加者の補助等をお願いできればありがたいです。詳細は担当者へ問い合わせてください。



## 季節だより

### セイタカアワダチソウ ①



明治末期北米から観賞用に導入されたキク科の帰化植物です。晩秋、無数の黄色い花が種子をつけ、白い綿毛が泡立つように見えるので「背高泡立草」と呼ばれます。戦後北九州に進駐した米軍の貨物に種子が混じって広がり、1960年代後半にはほぼ全国の河原や造成地、休耕地などで2m超の高さの茎が爆発的に大繁殖し社会問題化しました。外来生物法の「要注意植物」に指定され「日本の侵略的外来生物ワースト100」にも選ばれています。大繁殖した理由としては①日本には天敵が存在しなかった、②地下茎が急速に広がり、そこから直立する茎は年50倍に殖え、その上一本の茎に4万個もの種子をつける、③根から毒性物質を分泌し、在来の植物の発芽や生育を阻害する、④モグラやネズミの糞等が土壌内に肥料成分を蓄積し、また人が散布した化学肥料で土が肥え大きく成長できたなどが挙げられます。しかし1980年以降、全国を席卷した本種もあまり目立たなくなりました。その理由は…(次号に続く)